



ここ数年、6月の時点で最高気温が35℃以上となる「**猛暑日**」が増えており、海で泳ぐ人が増えています。海で泳ぐときは、「**自分は大丈夫!**」と思わず、遊泳中の事故防止を行い楽しみましょう!!

・子どもだけで海水浴に行かせない

子どもだけだと事故があった時の初動に遅れが！
大人も一緒に海水浴に行きましょう。

・子どもから目を離さない

子どもの動きは予測不能！
大人は子どもの動きに注意しましょう。

・飲酒してから泳がない

飲酒をすると運動能力が低下します！
「**お酒を飲んだら泳がない!**」



・管理された海水浴場を利用

ライフセーバーや監視員がいる海水浴場へ行きましょう！
遊泳区域が設定されている海水浴場では、
水上バイクやSUPと接触する危険が減少します。

海水浴場での事故事例（遊泳者の帰還不能）

令和7年7月、海水浴場で、浮き輪に掴まり浮いていた成人女性が沖に流され砂浜に戻れなくなる事案が発生しました。この事案につきまして、沖に流されているのに気づき砂浜に戻ろうとしたときには、風が強く戻れず、救助を要請したものです。女性は、**防水バックに入れた携帯電話を所持**していたことから、すぐに救助要請ができ、無事に救助されました。

漁船の事故事例（運航不能）

令和8年5月、漁船A丸が釣り場を移動するために機関を起動しクラッチレバーを操作するも航行ができなかったものです。この事案につきまして、漁船A丸のクラッチレバーの一部が損傷していたことからクラッチの嵌脱ができず航行できなかったものです。**発航前点検**はもちろんのこと、**定期的な業者による点検**をお願いします。